

## 占部天神社戦没者慰霊碑その2

占部天神社には1897（明治30）年と1906（明治39）年建立の2つの戦没者慰霊碑がある。1906（明治39）年建立の戦没者慰霊碑は次のように記載されている。

- ・ 占部天神社戦没者慰霊碑その2（表面上段）

明治三十七八年度戦病死者名簿

### 鬼神泣壮烈

陸軍中将正四位勲一等功二級土屋光春書

- ・ 占部天神社戦没者慰霊碑その2（表面下段）

明治三十七八年度戦病死者名簿

故陸軍歩兵特務曹長 勲六等功六級 本田道太郎

明治三十八年一月廿八日清國浪洞溝付近戦死

故陸軍歩兵伍長 勲七等功六級 太田庄九郎

同年三月五日清國盛京省孤塚子附近戦死

故陸軍歩兵上等兵勲七等 山本治三郎

同年八月廿九日清國盛京省奉天兵站病院ニテ病死

故陸軍歩兵上等兵勲八等功七級 早川辰吉

同年十月十二日清國盛京省大房身舎営病院ニテ病死

故陸軍歩兵一等卒勲八等 近藤仁郎

同年三月五日清國盛京省孤塚子附近戦死

故陸軍歩兵一等卒勲八等 早川栄吉

同年三月五日清國盛京省孤塚子附近戦死

故陸軍歩兵一等卒勲八等 近藤捨治郎

同年三月十日清國盛京省湯官屯付近戦死

故陸軍輜重輸卒勲八等 大竹善吉

同年八月十一日清國盛京省奉天兵站病院ニテ病死

柴田勝治郎鐫

（注）遼寧省（りょうねいしょう）：中華人民共和国東北部（満洲）に位置する省。省都は瀋陽、他の主要都市として大連がある。清時代は盛京省、後に奉天省



清国盛京省

### [鬼神泣壯烈]

書かれた言葉「鬼神泣壯烈」はフビライ・ハーンに仕えた文天祥（1236～83）の「正気歌」から取られたもの。或為出師表 鬼神泣壯烈（11・12句目）「ある時は諸葛亮孔明の書いた『出師の表』となり、鬼神もその壮烈さに涙を流す。」

### [日露戦争]

日露戦争（にしろせんそう）は1904（明治37）年2月8日から1905（明治38）年9月5日まで行われた。日露戦争は大日本帝国とロシア帝国との間で朝鮮半島とロシア主権下の満洲南部と、日本海を主戦場として発生した戦争である。両国はアメリカ合衆国の仲介の下で終戦交渉に臨み、1905年9月5日に締結されたポーツマス条約により講和した。講和の結果、ロシア領の南樺太は日本領となり樺太庁が設置され、ロシアの租借地があった関東州については日本が租借権を得て、関東都督府が設置された。

#### ・ 占部天神社戦没者慰霊碑その2（裏面上段）

陸軍歩兵特務曹長	勲十等功七級	山本幾太郎
陸軍歩兵曹長	勲十等	山本金三郎
陸軍歩兵軍曹	勲七等功七級	鶴野嘉市
陸軍歩兵軍曹	勲七等	山崎才次郎
陸軍歩兵伍長	勲七等	渡邊ハ太郎
陸軍輜重兵伍長	勲七等	松原新次郎
陸軍歩兵伍長	勲八等功七級	鶴野治作
陸軍歩兵上等兵	勲八等	高橋善五郎
陸軍輜重兵上等兵	勲八等	大山祐照
陸軍歩兵上等兵	勲八等	高橋松治郎
海軍一等水兵	勲八等	小島庄太郎
海軍一等水兵	勲八等	星野光太郎
海軍一等機関兵	勲八等	都筑定市
海軍一等水兵	勲八等	杉田九造
海軍一等水兵	勲八等	金山友吉
陸軍砲兵一等卒	勲八等	山本宇三郎
陸軍歩兵一等卒	勲七等	小林伊四郎
陸軍歩兵一等卒		鈴木五四郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	志村榮吉
陸軍歩兵一等卒	勲八等	大山喜代丸
近衛歩兵一等卒	勲八等	浅井源左衛門
陸軍歩兵一等卒	勲八等	星野徳三郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	齋藤末次郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	本田源治郎
陸軍工兵一等卒	勲八等	近藤作次郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	山本藤三郎
近衛砲兵一等卒	勲八等	星野駒四郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	太田善之丞

### [土屋光春（1848～1920）]

土屋光春（つちや みつはる）は、明治時代～大正時代の陸軍軍人。階級及び位階勲等功級爵位は陸軍大将正三位勲一等功二級男爵である。1848（嘉永元）年に岡崎藩士・渡利伝左衛門の4男として生まれる。14歳で岡崎藩士・土屋甚助の養子となり、1870（明治3）年、家督を相続し、本多忠直に支え、文学教授読兼司書一番銃卒分隊長となった。1872（明治5）年、陸軍少尉任官。その後、佐賀の乱、西南戦争を経て日清戦争には大本営参謀として従軍した。第27旅団長、近衛歩兵第1旅団長等を歴任し、1902（明治35）年に陸軍中将に進む。日露戦争に際しては、乃木希典大将

率いる第3軍隷下の第11師団長として、旅順攻囲戦に参加。



土屋光春

・占部天神社戦没者慰霊碑その2（裏面中段）

陸軍歩兵一等卒	勲八等	織部粹誠
陸軍補充兵歩兵一等卒	勲八等	榊原樹治郎
陸軍騎兵一等卒	勲八等功七級	加藤常六郎
陸軍砲兵一等卒	勲八等	太田辰治郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等功七級	塚 嘉市
陸軍歩兵一等卒	勲八等	近藤新六
陸軍歩兵一等卒	勲八等	山崎重治
陸軍騎兵一等卒	勲八等	杉田藤九郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	太田藤五郎
陸軍砲兵一等卒	勲八等	浅井龍平
陸軍歩兵一等卒	勲八等	加藤長之助
陸軍補充兵歩兵一等卒	勲八等	金山千代吉
陸軍補充兵歩兵一等卒	勲八等	近藤小三郎
陸軍補充兵歩兵一等卒	勲八等	村上増太郎
近衛補充兵歩兵一等卒	勲八等	太田増太郎
陸軍砲兵一等卒	勲八等	野本新一郎
近衛歩兵一等卒	勲八等	杉浦愛三郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	都築末松
近衛補充兵歩兵一等卒	勲八等	小島貞逸
近衛歩兵一等卒	勲八等	小島澤吉
陸軍歩兵一等卒	勲八等	太田繁太郎
陸軍砲兵一等卒	勲八等	近藤金次郎
陸軍歩兵一等卒	勲八等	平井駒治
近衛補充兵歩兵一等卒		横田源之助
近衛補充兵歩兵一等卒	勲八等	佐藤又三郎
陸軍砲兵二等卒	勲八等	早川仙治
近衛補充兵歩兵二等卒	勲八等	渡邊坂市

明治三十九年建立

（注）輜重兵（しちょうへい）とは、兵站を主に担当する日本陸軍の後方支援兵科の一種。陸上自衛隊においては、輸送業務や輸送統制を行う「輸送科」、糧食・燃料などの補給を行う「需品科」に分類される。

（注）近衛兵（このえへい）とは、君主を警衛する君主直属の軍人または軍団をいう。近衛府・御親兵・親衛隊・近衛師団・禁衛府・衛兵など、時代や国によってさまざまな名称がある。

・ 占部天神社戦没者慰霊碑その2（裏面最下段）

近衛補充兵歩兵二等卒	星野佐市
陸軍補充兵歩兵二等卒	渡邊要市
陸軍補充兵歩兵二等卒	鈴木庄太郎
陸軍補充兵歩兵二等卒	野々山嘉一
陸軍補充兵歩兵二等卒	本田六三郎
陸軍補充兵歩兵二等卒	太田五一郎
陸軍補充兵歩兵二等卒	近藤健治郎
陸軍補充兵歩兵二等卒	太田富治郎
陸軍輜重輸卒	野本材吉
陸軍輜重輸卒 勲八等	杉浦具太郎
陸軍輜重輸卒 勲八等	齋藤吉太郎
陸軍輜重輸卒 勲八等	米津貞治郎
陸軍輜重輸卒 勲八等	金山伊三郎
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	榊原八重吉
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	酒井鉄三郎
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	小島美之吉
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	岩瀬亀太郎
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	高橋吉助
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	磯谷市三郎
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	土屋休八
陸軍補充兵輜重輸卒	近藤京之助
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	大竹末次郎
陸軍補充兵輜重輸卒 勲八等	近藤弥一郎
陸軍補充兵輜重輸卒	渡邊駒治郎
陸軍補充兵輜重輸卒	高橋磯吉
陸軍補充兵輜重輸卒	畔柳種造
陸軍補充兵輜重輸卒	鈴木又四郎

碧海郡占部村尚武會



占部天神社 戦没者慰霊碑 20150728



占部天神社 戦没者慰霊碑その2 20150728



本項は以下の資料を引用している。

**[六ツ美村誌]**

編者 六ツ美村是調査会  
発行 六ツ美村是調査会  
発行日 1926（大正15）年12月1日  
発行所 日新堂書店  
印刷所 活版印刷所



[岡崎の人物史]

著者： 岩月 栄治

編集： 岡崎の人物史編集委員会

発行日：1979（昭和54）年1月5日

印刷所：研文印刷社

板倉勝重（P89）、野本新十郎・渡邊弥蔵（P99）、土屋光春（P148）、早川龍介（P150）、  
鶴田勝蔵（P190）、太田功平（P192）、石川成章（P249）などの記述がある。

六ツ美村誌には次のように記載されている

日露戦役記念碑  
所在 大字中天神社横  
碑石 仙臺石 高九尺五寸 幅四尺五寸  
表面 鬼神泣壯烈 陸軍中將正四位勳一等功二級 土屋光春書  
裏面 明治三十七八年役戦病死者八名の勳等氏名及び戦役地名年月日を刻す。  
從軍者八十二名の勳等氏名を刻す。  
明治三十九年十月建之  
占部村尙武會